



ハート メッセーヅ

令和4年
No. 35

神奈川被害者支援センター

検索



事件や事故の被害にあわれた あなたを支援します

- 相談・支援は無料です
- 秘密は厳守します
- 面接相談・直接支援は必要に応じて行います

☎ ハートライン神奈川（性被害専用ダイヤル）

**相談
電話** TEL 045-328-3725

相談受付 月曜日～金曜日 午前10時から午後4時（祝日・年末年始を除く）

➔ かながわ犯罪被害者サポートステーション

**相談
電話** TEL 045-311-4727

相談受付 月曜日～土曜日 午前9時から午後5時（祝日・年末年始を除く）

認定NPO法人 神奈川被害者支援センター



新年のご挨拶

神奈川県被害者支援センター
副理事長 堀本久美子



あけましておめでとうございます。

神奈川県被害者支援センターは、昨年、設立20周年という節目を経て、21年目の新年を迎えることができました。この間、当センターにご理解ご協力いただきましたすべての皆さまに、心から御礼申し上げます。

さて、改めて当センターを振り返ってみますと、今では、神奈川県被害者サポートステーション※の一翼としていわば公的な支援と、民間団体としての柔軟な支援を担っておりますが、今後は、上記サポートステーションの規程上は対応しづらい被害者支援の受け皿として、より柔軟な支援を積極的に果たすことが期待されています。

かかる受け皿としては、既に横浜地方検察庁が、神奈川県弁護士会の犯罪被害者支援に精通する弁護士らと連携する支援制度を運用しています。

そもそも当センターでは、その正会員自身が既に支援者（心理職や弁護士等）である方も相当数おられますので、21年目以降の当センターでは、これら支援者である正会員という人的資源を活用した柔軟な支援の在り方も追求して参る所存です。

引き続き、当センターへの厚いご支援を心からお願い申し上げます。

※平成21年に神奈川県被害者等支援条例で設けられた、神奈川県、神奈川県警察及び当センターの三位一体で構成される犯罪被害者支援制度



全国表彰

令和3年10月8日に「全国被害者支援フォーラム」においてボランティア支援員の碓井晴恵氏と石井ひろみ氏が「栄誉賞」を受賞されました。

理事長及び警察本部長の連名表彰

7年にわたり献身的に犯罪被害者支援に携わってこられた功労者（松本陽子氏、宮本裕美子氏、小林理枝氏）に対して表彰状が授与されました。



犯罪被害者支援功労団体等表彰

設立20周年を迎えた当センターが令和3年11月24日神奈川県警察本部長から犯罪被害者支援功労団体として表彰されました。



犯罪被害者週間関連行事

横浜市犯罪被害者等支援市民講演会（共催）



令和3年11月17日（水）於：港南公会堂にて開催プログラム

- ◆ 講演「犯罪被害に遭うということ」
被害者遺族（中野区議） 近藤さえ子氏
- ◆ パネルディスカッション
「被害者の思い、わたしたちにできること」
- ◆ 神奈川県警察音楽隊による演奏会



◆ ミニ「生命（いのち）のメッセージ展」



当センター主催のミニ「生命のメッセージ展」を同時開催しました。交通事故や犯罪によって理不尽に生命を奪われた犠牲者一人ひとりの等身大のパネルを展示し、その胸元には本人の写真や家族の言葉を添え、足下には「生きた証」である靴をおいて、いのちの大切さを伝えました。

伊勢原市の広報

伊勢原市では一般市民を対象として令和3年11月16日（火）から11月25日（木）までの間、市役所本庁舎1階ロビーにおいて「犯罪被害者週間」及び「女性に対する暴力をなくす運動」の啓発のためポスター掲示、リーフレット、チラシの配架等を行いました。



サポートステーションの広報



令和3年11月18日（木）から11月25日（木）までの間、県庁新庁舎1階ロビーにおいて「犯罪被害者等支援パネル展」を開催し、犯罪被害者やそのご家族が置かれている状況や、二次被害を防止することの重要性について、県民の皆様の理解を深めていただくとともに、各機関が行う支援活動などについて周知を図りました。

主催：神奈川県、神奈川県警察、当センター



「傾聴力」をもっと磨く

笹川 実

電話相談員を始めて1年、新聞の読み方が変わりました。「相模原殺傷事件」の初公判（令和2年1月、横浜地裁）の記事では、遺族・関係者を分けた法廷の遮蔽板や、被害者姓名の匿名記号化などの「被害者支援」の記述を探していました。それまでは加害者側に関心が向いていたような気がします。

実際に受ける電話の多くは、新聞には載らない、支援対象周辺のトラブルや悩みです。多岐多様な相談に対応できているのか、毎回反省があります。特に、電話相談の基本である傾聴の姿勢や技術。経験ある相談員の隣席にいと、傾聴のレベルの高さを感じます。傾聴が適切だから、支援可能性があるケースを見落とさない、支援対象周辺の相談でもケアや情報提供につなげられる。

人に悩みを話すことや、悩みを文章に書き出すことは、問題を見つめ直し、整理する力があると思います。「人生には苦しいこと悲しいことが必ずあり、一つ乗り越えるにも時間がかかる。人に話すことや書くことによって気持ちが整理できれば、その時間を短くできる。悩みは半分に、逆に喜びは倍にできると思う」と、かつて仕事で知り合った大先輩女性に教えられました。その聞き手側、整理のお手伝いが傾聴なのでしょう。相談者が、相談員から受容、共感され、少しでも気持ちが整理できるなら、何か参考情報を得るなら、前へ進めるはず。それほどに傾聴は相談の大事な入り口であり、本分となる場合もあると考えています。

「相談者は電話の先の相談員が見えるもの」「相談員は寄り添う伴走者」——そんなレベルを目指し、アクティブな「傾聴力」を磨いていきたい。それも常識的な法律や制度などの知識があつてのことなので、“最後の勉強”と思って精進したい。相談員を始めた令和2年は、被害者支援関係法令整備の一つの契機になったとされる「山口県光市母子殺害事件」からまる20年の節目でした。気を引き締めて微力を尽くします。

ご協力
ください

本でできる被害者支援「ホンデリング」

読み終わった本（不要書籍等）が、ご家庭などで眠っていませんか。新書、文庫本などをご寄贈下されば、犯罪被害等にあわれた方々への支援活動につながります。取扱い書籍はバーコード下に「ISBN」と表示されたものです。



9870123456789

ISBN978-4-1234-5678-9
ISBN見本



以下の本は取り扱えませんので注意
ください。

ISBNのない本 百科事典 コンビニコミック
個人出版の本 漫画雑誌 一般雑誌
2010年以前に出版された本

2021年は18団体、個人14名の方々のご協力で14万円余の寄附を頂きました。警察署からのご協力は以下の通りです。

大磯、厚木、松田、金沢、戸部、加賀町、浦賀
青葉、逗子、大和、秦野、津久井、川崎、海老名

ワンクリック募金

ハートメッセージの表紙に示したQRコードを読み取ると当センターのウェブページが開きます。そのトップページ下方にある右図のボタンをクリックするだけで、当センターに寄付が行われます。



「犯罪被害者支援ボランティア養成講座」を受講して

受講生 久保谷 央絵



私は秦野市役所の市民相談人権課という部署で日頃、市民の方の様々な相談対応や、女性相談室の調整、男女共同参画推進事業などを担当しています。

この度、本市において令和4年4月から犯罪被害者等支援条例を施行し、支援窓口を開設するにあたり、講座を受講させていただきました。受講してみて、関係機関の支援の状況や取り組み、被害者の心情、実践的な支援方法、支援者自身の自己理解などカリキュラムが大変充実しており、どの講座もとても勉強になりました。

講座を通して犯罪被害者支援について知る前と知った後では、ニュースの受け取り方、相談者の心情など、様々なことをより意識するようになりました。「知る」ということが初めの一歩ではありますが、大変重要なことだと実感しました。

特に印象のある講座は、被害者の受ける二次的被害についてです。トラウマや心身への影響で何重もの苦しみを抱えていることを理解せずに、または気にし過ぎた態度や言葉によって更に傷つけてしまうことは、行政職員また支援者として常に意識しておかなければと感じました。

また、実際に被害者遺族の方から、事件直後や時間が経過してからの状況、本当に必要な支援、周囲の反応などについて、私たちのためにお話しいただき、大変感謝しております。お話をお伺いする中で感じとったことは、今後の仕事の原点として、心に刻んでおかなければならないと思いました。そして、市の窓口として、被害に遭われた方やそのご家族が安全に安心した生活を1日でも早く取り戻せるように、経済的支援や日常生活の支援を行っていく中で、まずは寄り添った支援を一番に心がけたいと思いました。

今回、講座を受講し、社会全体で被害者の方を支援する必要性について、多くの方に知ってもらいたいと強く感じました。この想いを今後の支援の取り組みに活かしてまいります。

本講座は犯罪被害者の心情を理解し、被害者支援の実情を学びボランティアとして支援活動に参加するために必要な知識・能力・技術の習得をめざすものです。

養成講座を修了し、当センターの相談員としてスタートを切る方、ご自身のフィールドに持ち帰りそこで啓発活動をされる方、地域や身近で困った方に力を貸したいと考えている方、受講生の皆様がここで学んだことを糧として今後それぞれの場所で活躍されることを願っております。

令和3年 下半期主要行事

7月	9月	11月
2日 ボランティア養成初中級講座開講	16日 相談支援部会	4日 定例研修会
5日 運営委員会	28日 広報・啓発部会	12日 ボランティア養成初中級講座閉講
9日 相談支援部会	29日 相談支援部会	10日 広報・啓発部会
27日 定例研修会	活動	19日 ボランティア養成上級講座開講
30日 理事会		支援調整会議 4回
活動		直接支援18回
	カウンセリング 5回	
活動	10月	活動
	4日 運営委員会	支援調整会議 5回
		直接支援30回
		カウンセリング 1回
8月	12月	
23日 新任事務局長等研修	4日 運営委員会	3日 □ールプレイ研修
24日 全国事務局長等会議	15日 関東甲信越ブロック事務局長会議	6日 運営委員会
活動	18日 □ールプレイ研修	22日 広報・啓発部会
	支援調整会議 5回	20日 定例研修
	直接支援19回	18日 広報・啓発部会
	カウンセリング 3回	20日 定例研修
	29日 理事会	23日 定例研修会
	活動	支援調整会議 4回
		直接支援34回
		カウンセリング 3回
		活動
		支援調整会議 4回
		直接支援33回
		カウンセリング 2回

寄付感謝報告

神奈川被害者支援センターは、多くの皆さまからのご支援を受けて被害者支援活動を展開してまいりました。正会員、賛助会員の皆さまからは会費として、多くの市民の皆さまからもたくさんのご寄付をいただきました。また、自動販売機や募金箱設置、ホンデリングなどでもご支援をいただいております。心より感謝申し上げます。

理事長 村尾 泰弘

※お名前表記等に誤りがございましたら、御容赦いただきますとともに、お手数をおかけしますがご連絡をいただければ幸いです。(敬称略・順不同)

令和3年7月～令和3年12月にご協力いただいた皆さまです。



横須賀・三浦遊技場組合



全国共済農業協同組合連合会
神奈川県本部



株式会社 関東警備システム
代表取締役 北村まり子 氏



小泉 朝雄 氏

上記に掲載した皆様方には、特に多額のご寄付をいただきました。

■団体賛助

(医社) 柏信会 青木病院

(株) AOKIホールディングス

青葉安全運転管理者会

青葉交通安全協会

麻生防犯協会

足柄上地区職場警察連絡協議会

足柄地方安全運転管理者会

(株) アネスト

(株) 石橋斎場

泉安全運転管理者会

会長 鈴木 一誠

春日幼稚園

神奈川県警察官友の会

(一社) 神奈川県警親会

神奈川県警親会 茅ヶ崎支部

(一財) 神奈川県警友会

神奈川県自転車防犯協会

神奈川県民共済生活協同組合

神奈川県遊技場防犯協会連合会

神奈川相互交易(株)

神奈川中央交通(株)

神奈川銘友会

神奈川流通商福祉防犯協力会

金沢安全運転管理者会

川崎葵ライオンズクラブ

川崎タクシー(株)

京浜交通(株)

栄安全運転管理者会

(株) サカモト 坂本祭典

(株) 三協

湘南交通(株)

(株)スポット
 (株)清光社
 大黒ふ頭連絡協議会
 (有)ツカサホーム
 戸塚安全運転管理者会
 (有)戸塚昇光社
 那賀都工業(株)
 日産自動車(株)
 (株)日新
 (一社)日本自動車連盟神奈川支部
 (株)橋本自動車学校
 (株)ファンケル
 藤沢北交通安全協会
 藤沢市内タクシー乗り場委員会

(株)藤沢ロックセンター
 (株)松尾工務店
 ミツ境自動車教習所
 (株)みやこ屋
 宮前交通安全協会
 (株)ヤナセオートシステムズ
 大和警察署警察官友の会
 (株)山室電機
 横浜泉ライオンズクラブ
 横浜駅西口振興協議会
 藤田観光(株)
 横浜桜木町ワシントンホテル
 警備部公安第一課
 交通部駐車対策課

生活安全部人身安全対策課
 生活安全部少年育成課
 地域部通信指令課
 麻生警察署
 海老名警察署
 鎌倉警察署
 相模原北警察署
 相模原南警察署
 逗子警察署
 多摩警察署¹
 茅ヶ崎警察署
 宮前警察署

■個人賛助

相原 勝子	神 亜希子
安藤 誓子	神 亮一
飯田 秀樹	鈴木 浩
笠原 美和	千葉 証
五嶋昭二郎	土川 信彦
斉藤 裕	土田 孝
	鳥山 直温

濱井 正
 藤嶋 崇友
 宮崎 美重
 宮崎 康夫
 武藤智恵子
 毛利 友美
 脇 礼子

匿名希望 1名

■団体寄付

神奈川県職員有志(くらし安全交通課)
 神奈川福祉事業協会(ワンクリック募金)
 全国共済農業協同組合連合会神奈川県本部
 地方職員共済組合神奈川県支部
 (有)網島双葉葬儀社
 藤木企業(株)
 横須賀・三浦遊技場組合
 警務部警務課

大磯警察署
 大船警察署
 金沢警察署
 港南警察署
 栄警察署
 逗子警察署
 津久井警察署
 藤沢北警察署
 大和警察署



■個人寄付

秋山 和代	奥山 妙
伊與久時光	小野 幸太
大木きみ江	勝島聡一郎
	北村まり子

木戸 隆博
 倉永有紀子
 小泉 朝雄
 香野 智彦

小嶋由起子
 沢田美登利
 島田 美加
 玉盛 勝久

辻 孝弘
 堀本久美子
 毛利 友美
 安田 裕哉

山口 靖之
 山田美和子

匿名希望 4名

■正会員

青山 利史	木原信一郎
上遠野 弘子	妙摩 光雄
兼子 栄司	高橋 仁
	武内 大徳

田邊 克彦
 橋谷田和彦
 橋谷田清美
 藤澤 修

宮本裕美子
 諸角 光雄
 山田 真也
 山田美和子

匿名希望 1名



神奈川被害者支援センターの活動

当センターは、神奈川県公安委員会より、信頼性のある民間支援団体として県内で唯一「犯罪被害者等早期援助団体」の指定を受けております。これにより被害者等に対する早期の支援が可能になるなど、支援内容も充実しております。支援内容は以下のとおりです。

電話相談

専門家や訓練を受けた相談員による相談・他機関への紹介を行っています。

心のケア 情報提供



面接

精神科医や臨床心理士等の相談の専門家によるカウンセリング等を行います。

カウンセリング 情報提供



直接支援

被害者の希望に応じて、病院、裁判所、警察への付き添いなどを行います。



自助グループ支援

同様の体験をした被害者の方々が集える交流場所の提供を行います。



神奈川被害者支援センターの活動を支援してください

- ◎個人賛助会員 1口 3,000円
- ◎団体賛助会員 1口 10,000円 *1口以上、何口でも可
- ◎寄付:金額や口数に関係なく随時受け付けています。

【個人賛助会費・団体賛助会費・寄付金に関しては税制優遇措置が受けられます】

振込先(ゆうちょ銀行の振替用紙をご利用ください。)

口座番号 00270-9-72111 口座名義 NPO法人神奈川被害者支援センター

かながわ犯罪被害者サポートステーション 三位一体の支援

神奈川県

中・長期的支援、生活資金の貸し付け、弁護士による法律相談、緊急避難場所の提供、電話相談等

神奈川被害者支援センター

迅速柔軟な支援、電話相談、面接相談、直接支援(警察署、検察庁、裁判所、病院等への付添)、カウンセリング、自助グループへの活動支援

警察

初期的支援、危機介入、カウンセリング、病院等への付添、犯罪被害者等給付金手続、支援に関する情報提供

編集後記

令和3年もコロナに終始した1年となりました。そのせいか、コロナ禍での鬱憤を晴らすような事件が多かったように思います。なかでも安全安心なはずの電車事件はいつ誰が巻き込まれるかわからないだけに恐怖を覚えました。こんな時だからこそ、他者への想像力を持つ社会であって欲しいと感じます。

(R. E)